

## 令和5年 第3回 原村議会定例会 一般質問通告一覧表

通告番号	発言議員名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
1	芳澤 清人	1 村政について	1 選挙戦にあたり「原村の未来を明るくする「原村5策」」のコンセプトと誰ひとり取り残さない村づくりを掲げてきた。今後、これらコンセプトを村政にどう繋げて行きたいか具体的な手法、村づくりへの思いは。	村長
			2 出口調査では村政運営で最も優先して取り組んでほしい政策に医療・福祉、教育、子育て支援、環境保全が上位を占めた。この住民の思い、期待をどう受け止めているか。	村長
		2 村の教育について	1 教育長就任にあたり教育への取組についての具体的な目標は。	教育長
			2 教育指導主事は教員の働き方改革に伴い導入されたように記憶している。現在、一般に教育指導主事の立場や仕事が明確化していないのが問題になっている。教育指導主事の仕事は明確に位置づけられているか。	教育長
		3 中学校の部活動の地域移行について	1 少子化の影響で中体連等の大会で単独チームの大会参加が出来なくなっている現状から、スポーツ庁、文化庁の有識者会議で2025年度までに部活動の「地域移行」を実現すべきとの提言をまとめた。村長は中学校の部活動の地域移行を支援すると示した。その思いはどのようなことからか。	村長

通告番号	発言議員名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
1	芳澤 清人		2 部活動の地域移行に対し教育長はどのように捉えているか。	教育長
			3 指導者の確保、引率、部活動への補助、手当、指導者と選手との信頼感、心のケアなどの課題がいくつかある中でどの様に地域移行をしていくのか。	教育長
			4 部活動地域移行準備委員会等を発足し地域移行に向けていくのが良策と思うが考えは。	教育長
		4 小中学校の一貫教育の検討を	1 小中学校一貫教育は中一ギャップの解消、異年齢交流など児童生徒がしっかりと育つ教育として是非取り入れていただきたい。村長はマニフェストに小中9年間の一貫教育の検討を挙げている。今こそ小中学校の一貫教育を取り入れる時期ではないかと考えるが。村長、教育長の考えは。	村長 教育長
			2 教育委員会をはじめとした小中学校一貫教育の準備委員会を発足すべきと考えるが検討しては。	教育長
		5 原付ナンバープレートのデザイン化を	1 原動機付き自転車のナンバープレートを村独自のデザインで暖かみがあり誰もが親しめるナンバープレートにして、村内外にアピールしてはどうか。	村長

通告番号	発言議員名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
1	芳澤 清人	6 婚姻、出産のお祝いメッセージを	1 婚姻、出生届けの際に村長のお祝いメッセージと共にお祝い金を贈呈してはどうか。	村長
		7 運転免許証返納者について	1 高齢者の運転免許証返納の際の返納者に対し、のらぎ乗車券の配布を。また、従来は金額はあまりにも少額すぎる。金額、配布年数等を考慮しては。	村長
			2 運転免許証返納者に対し免許卒業メッセージを贈ってどうか。	村長
2	森山 岩光	1 村長就任にあたり、公約実現に向けての思いと決意は	1 村長就任にあたり多くの公約を掲げているが、第一に取り組む事業、一丁目一番地とする政策は何か。公約実現に向けての具体的施策、思いについて見解は。	村長
			2 五味前村長の引退会見内容を紹介します。(8月7日付、新聞報道より) ①村の現状について、「就任時の2015年度の村の総所得金額は約93億円だったが、2022年度は約111億円で20%増加した。移住者の増加のほか、工業製品の出荷額も伸びていて、村全体の経済のパイは大きくなっている。ただ、農業はブロッコリーなどの病害虫「テンサイシストセンチュウ」、セロリの芯腐など厳しい状況にある。 ②これからの原村について、「エコラインより標高の高いエリアに住む人が、村全体の人口の約3分の1と増えており、昔から住む人と新しく来た人が融和していく必要がある。」と述べている。村長は、この会見内容をどう捉え今後につなげていくか。	村長

通告番号	発言議員名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
2	森山 岩光	2 近年、集中豪雨による被害が顕著になっている。更なる防災の強靱化策、改善整備を推進すべきでは	1 6月2日の豪雨災害では、村内各所で被害が多発した。農林関連では浸水・畑の土流出・畦畔の崩壊・フトン籠の流出・頭首工の破損など63件で3,100万円余、建設関連では護岸の崩落・河川の氾濫・倒木・側溝の溢れ、道路・水路の土砂堆積、など54件で1,000万円、下水道関連では、地下水の増加に伴う地下水位の上昇で、下水道管渠の破損などの補修や布設替え工事で9,600万円余となり、近年にない被害となった。今回の集中豪雨を教訓とし、より厳しい事態を想像して防災の強靱化を推進すべきと考えるが、村の見解は。	村長
			2 今回の被災箇所でも国土強靱化地域計画に該当するエリアはなかったのか。例えば、中新田区内を流れる道祖神川が氾濫し、川下の住宅地周辺を襲った。この川は住宅地近隣を流れており、護岸は未設置・永年の土砂堆積で河床も浅い箇所が散見される。早急に、改善整備すべきと考えるが、村の見解は。	村長
		3 村の衛生管理	1 不法投棄物の増加が顕著だ。令和元年度、2年度、3年度、4年度の内容を見ると、テレビ・冷蔵庫・洗濯機・タイヤ・建築廃材・混合廃棄物などの処理困難物である。特に、近年目に付くのがタイヤの不法投棄だ。この状況を村ではどう捉えているのか、対策の検討はされているか。	村長

通告番号	発言議員名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
2	森山 岩光		2 村で処理困難物を定期回収する機会を設けてはどうか。過去に一度、バス回転場で実施した経緯があり住民の評価は高く、喜ばれた。定期回収を「見える化」しPRすることで住民に周知でき、美しい村づくりの啓蒙にも繋がると認識するが、村の見解は。	村長
		4 通学路への歩道設置の進捗と、歩道管理状況は	1 平成26年12月に通学路交通安全プログラムを策定し、歩道設置の要対策箇所、5箇所を指定し対応してきている。進捗状況と課題について見解は。	村長
			2 県道、茅野北杜葦崎線の中新田区内歩道の建設に着手してきているが、区役所入口までのエリアが未着工状態であり、遅れている。通学路の交通安全確保面で、早急な整備が必要だ。区・県・関係者と協議体を設け、地権者対策などの課題解決にむけて鋭意推進すべきと認識する。今後の方策について村の見解は。	村長
		3 県道沿いの通学路・歩道の維持管理（雪かき、除草など）は、区・PTAにより実施していると認識しているが、現状はどうか。	村長	
3	平出 敏廣	1 小、中学校の給食費無償化とオーガニック（有機）給食への取り組みを	1 給食費無償化について国、県の動向がハッキリしない中、全国自治体では3割ほどの自治体で無償化が行われており、早急に取り組む課題ではないか。当村での小・中学校の給食費の無償化についての考えは。	村長

通告番号	発言議員名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
3	平出 敏廣		<p>2 無償化と合わせてオーガニック給食の取り組みを。全国自治体の中では既に取り組み、児童、生徒に特有の病気や、病気とは言わないまでも情緒的な問題などに良い影響が出てきている報告がある。検討すべき課題ではないか。</p>	村長
			<p>3 昨年（2022年10/26）「第1回全国オーガニック給食フォーラム」には総参加者4,000名。本年6月に「全国オーガニック給食協議会」が設立され、32の市町村、24のJAと農業関係団体他多数の団体、個人が参加している。県内でも既に取り組んでいる先進自治体がある。研究、検討してはどうか。</p>	村長
			<p>4 農林水産省では地域ぐるみで有機農業に一貫して取り組む「オーガニックビレッジ」を2025年までに100市町村つくる方針を出し、超党派の国会議員30名以上がオーガニック給食を全国に実現する議員連盟を立ち上げている。当村でも、生産者、農協、農業委員会、学校の栄養士及び行政が一体となり、農業のあり方、子育てのあり方を検討していくべきでは。</p>	村長

通告番号	発言議員名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
3	平出 敏廣		5 1例として県内松川町では、当初、数名の方達（農業委員会含む）による遊休農地の活用としての取組みから、町行政も積極的に関わり、「ゆうき給食とどけ隊」ができ、今では学校の栄養士、調理者でつくる「ゆうき給食つくり隊」ができ、さらに輪が広がっているとの報告があった。本村でも取り組む課題であり、情報交換など取り組みをしてはどうか。	村長
			6 学校給食費の年間総額は約3,800万円かかっており、財政上これ以上は無理との答弁があった。予算を理由にやらないは行政の常套手段であると感じる。やるためにどうするかを考えるべき、取り組んだ自治体は住民に向けた姿勢が大事だと首長の報告があった。考えは。	村長
		2 諏訪地域合併についての考え	1 村長は、以前から合併には反対の立場でいたと記憶しているが、村長選の中で合併問題が上がっていた。また、最近6市町村の中でも諏訪湖周域3市町と東側3市町村で合併すればという話題も出ている。当村は、従来から合併はしないとってきているが、村長になられて合併問題をどう考えるか。	村長
		3 地域交通対策	1 高齢者のための地域交通対策の推進はどう行うのか。	村長

通告番号	発言議員名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
3	平出 敏廣		2 指定のバス停は自宅から離れており、長く歩くのが大変な高齢者からセロリン号ではフリー乗降があったから利用したが、これからはどうなるのかとの問い合わせがある。対応は。	村長
			3 JR を利用する駅までの足となっていた通学通勤支援便の扱いと、帰宅時間に合わせた駅までの予約は必要と考えるが可能になるのか。	村長
4	中村 浩平	1 道路管理がなっていない、改善を。	1 この8年の間に、道路管理の不備によって損害賠償した件数とその合計金額は。	村長
			2 日常的に路面の穴を散見するため、直ちに復旧するよう、またその仕組みを作るよう、一般質問で何度も指摘している。対応しなかった理由は。	村長
			3 村道上の亀裂・段差を何とかしてほしいと住民の方から私に相談があった。このため令和2年3月に、建設水道課長に対して、「遅くとも次の冬までには修繕をして頂きたい。」と書面で提出しているが、3年以上経過している現在でも、何の返答もなく、修繕自体もされていない。どういう事か。	村長

通告番号	発言議員名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
4	中村 浩平		4 村道上の木障 <sup>こき</sup> も酷い状況である。この問題は一般質問で何度も指摘しているが、なぜパトロール時に車から降りて木障切りしようとしていないのか。	村長
			5 「交差点内へ植えてしまった街路樹は、見通しを悪くするため伐採した方が良い。」との考えを示しておきながら、何ら対応していないのは何故か。	村長
			6 通学路上に草が繁茂し、雑木の枝も張り出している。誰が除去すべきと考えているか。	村長
			7 舗装上の堆積土をあちらこちらで長年放置しているが、路肩が無くなり、歩行者も車道を歩かねばならずとても危険である。なぜ除去しないのか。	村長
			8 あちこちで舗装上に石が転がり出ていたり、秋には落ち葉が堆積したりしている。村にも道路清掃車が必要な時代と考えるが。	村長
			9 信号が早く変わり過ぎて危険な役場前交差点、あと数秒、青色の点灯時間を長くしたほうが良いと一般質問で提言したが、何ら改善されていない。執行部は「十分警察署と話し合っていきたい。」と答弁したが、一体いつ協議してどういう結果となったか。	村長

通告番号	発言議員名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
4	中村 浩平		10 道路や河川をしっかりと管理する係を作らないと、住民の命と暮らしは守れない。新村長はどう考えているか。	村長
		2 閉鎖的な村政からの脱却を。	1 村長への手紙や、ふれあいトークの内容を前村長は公開しなかった。新村長の考えは。	村長
			2 上記制度の公開は、役場や村内で発生している様々な問題を、住民が知る上で非常に有益である。長野県では従前から公開しているのに、村が公開しなかった理由は。	村長
			3 そもそも、この二つ制度の事務根拠は一体どうなっているのか。	村長
			4 公務費を使って実施している以上、本人が非公開を望む場合を除いて、原則公開とすべきであるが。(個人情報を除く。)	村長
			5 これまでの村政は、住民から予め税金を頂いて、そのお金で公務をしているという認識が欠落していた。どんな公務であっても積極的にその内容を住民に公開すべきであるが。	村長
5	百瀬 嘉徳	1 原村診療所の医療体制について	1 診療医師の長期化や固定化は出来ないか。	村長

通告番号	発言議員名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
5	百瀬 嘉徳		2 医療検査で胃カメラの検査は出来ないか。	村長
			3 診療所で胃カメラ機材の設置は出来ないか。	村長
		2 豪雨等で畑等から流れ出した土砂の撤去について	1 大雨等で土が道路に流れ出し、交通確保のため、地元で路肩に寄せて盛り上げたままの土砂の片づけは出来るか。	村長
			2 低い所で毎回少しずつ溜まる箇所がある。見回って定期的に片付ける体制は取れるか。	村長
		3 保育園北側駐車場等について	1 園児の送迎時に混雑し、土ぼこりも上がって見通しが悪い。また、車や人のすれ違いに危ない場面がある。舗装した駐車場に整備出来ないか。	教育長
			2 舗装後は、車のスムーズな通行と安全のため駐車区画を設置すべきと思うが。	教育長
			3 交通安全の観点から、この駐車場入口から図書館前まで歩道が必要ではないか。	村長
6	村田 俊広	1 八ヶ岳中央農業実践大学校に関して	1 同校と本村との関わりについて、経過と現状について聞く。	村長

通告番号	発言議員名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
6	村田 俊広		2 同校の学生に対し本村として援助は考えられるか。	村長
		2 職員の労働条件等に関して	1 会計年度任用職員の雇用の安定と待遇改善について本村の考えと施策について聞く。	村長
			2 女性幹部の登用について、本村の方針と実践について聞く。	村長
			3 男性職員の育休取得の推進について聞く。	村長
		3 マイナカードの本村における現状	1 マイナカードの本村における取得率と発行枚数など、現状について聞く。	村長
			2 マイナ保険証に関するトラブルについて、村内では確認されているか。	村長
7	半田 裕	1 住民との連携による行政運営を	1 村長の掲げる「村民総参加の村づくり」に向け、どのような方法で住民の声を集めて行こうと考えているか。(オンラインプラットフォームの活用のイメージについてもお聞きしたい。)	村長
			2 次期総合計画策定について、従来のように審議会の委員が全体を考えるのではなく、分野別に担当課と地域住民が検討する方法をとってはどうか。	村長

通告番号	発言議員名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
7	半田 裕		3 子どもたちの声も住民の一員として聞いていく必要があると考える。子ども等の視点で村の課題を検討や、自分たちで解決に向けて実行をしていく「子ども会議」のような取り組みが必要と考えるがどうか。	村長 教育長
		2 目的を明確にした教育行政の運営を	1 新教育長としてまず何に取り組みたいと考えているか。また、これまで学校教育に携わってきた中で現場の負担軽減のために取り組むべき課題は何か。	教育長
		3 「はらっぱ」のさらなる活用に向けた、利用者や地域と連携を	1 「はらっぱ」の利用について、子どもたちに聞き取りを行なったが、どのような意見が出されたか。またその実現について、今後どのように対応をしていくか。	教育長
			2 子どもたちによる運営委員会の設置や、住民によるサポート体制を作ってはどうか。	教育長
			3 センター運営を主担当とする職員配置の検討結果は。正規職員以外にも運営についての人員の確保について検討されているか。	村長 教育長
		4 ICT 教育の推進のため、課題の洗い出しと実現のための具体的な取り組みを	1 ICT 教育で日常的に機器と関わる機会が少なかった点が課題だと考えている。授業ではどの程度活用されているか。また、タブレットの持ち帰りに対する課題と対策は考えられているか。	教育長

通告番号	発言議員名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
7	半田 裕		2 どういった場面で学校や家庭の中で日常的に ICT を活用することができるかについて、先生や保護者とともに検討してはどうか。	教育長
			3 出された案の実現を含め、機会の充実を図るために、ICT 支援員や学校応援団の活用を図ってはどうか。	教育長
		5 ICT を活用した積極的な情報発信を	1 オンラインによる情報配信等については、情報防災係が各課ごと対応が任されているのか。各課ごと配信ができる職員育成がなされているか。	村長
			2 有線放送の内容を HP で公開しているが反響は（アクセスはどの程度か）。また、LINE による配信の要望があるが試験的に取り組んではどうか。	村長
8	小松 志穂	1 来年度以降の放課後の子どもの居場所はどうなるのか	1 放課後の子どもの居場所のひとつである原っ子広場は、「はらっば」開所に伴い今年度からその拠点が移動し、運営体制も大きく変わった。来年度以降はどうなるのか、保護者からは不安の声が多く聞かれている。昨秋の「放課後の子どもの居場所に関するアンケート」においても保護者の満足度やニーズが非常に高い原っ子広場について、村長の考えは。また、今後の方向性は。	村長 教育長

通告番号	発言議員名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
8	小松 志穂		<p>2 同じく放課後の居場所である学童クラブは、「利用者ニーズがない」として単位の増設が見送られている。しかし、昨秋のアンケートには原っ子広場の方向性の明記はなく、原っ子広場のルール変更は学童クラブの申込締切り後に保護者に伝えられたため、学童クラブ利用の正確なニーズ把握ができていたとは言えない。原っ子広場の運用体制を変えるのであれば、学童クラブの就労要件や利用料等が利用しやすい形にならなければ、特に低学年において放課後の安心安全な居場所がない児童が生じてしまうリスクがある。今後の学童クラブについてはどのように考えているか。</p>	教育長
		<p>2 「はらっぱ」の活用をどのように進めていくのか</p>	<p>1 現在「はらっぱ」は、子育てサロン、中間教室の他は、主に小学生の放課後の利用が中心となっている。当初望まれていた、中高生や子育て支援団体等の自主的かつ創造的な活動の場としての活用ができていない現状がある。「原村5策」にも挙げられていた「はらっぱ」の更なる活用について、今後の方向性やプランはどうか。</p> <p>2 「はらっぱ」の活用を進めるには、現在の子育て支援系の人員では明らかな人手不足である。「はらっぱ」は子ども子育て支援の拠点として開所し、子育て支援系には従来の業務に加え「はらっぱ」の運営という非常に重要な業務が加わった点を考慮しても、活用のためには増員が不可欠と考えるが、どうか。増員しない場合は、今後、具体的にどのように活用を進めていくのか。</p>	<p>村長</p> <p>村長</p>

通告番号	発言議員名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
8	小松 志穂	3 「育休退園」問題への対応と多様化するニーズに応じた子育て支援を	<p>1 下の子が生まれて親が育児休業を取得すると、家庭で保育が可能とみなされ、保育園に通う上の子が退園しなければならない「育休退園」問題がある。平成 27 年度からの子ども子育て支援新制度において国が示す「保育の必要性」の事由には、「育児休業取得時に、既に保育を利用している子どもがいて継続利用が必要であること」が明記されているが、実際の運用にあたっては市町村の判断となっており、当村では 3 歳未満児においては 3 ヶ月での退園となっている。保護者の精神的・身体的負担のみならず、子どもの発達の間からも大きな問題であり、第二子以降の産み控えにもつながりかねない問題である。子育て支援および子どもの健全な発達の観点から制度の撤廃や緩和が必要と考えるがどうか。</p>	教育長
			<p>2 育休退園制度については多くの自治体で撤廃や緩和の動きが広がっており、県内では松本市が多様化する保育ニーズに対応するため今年度から保育園の入所・在園要件を変更した。要件の緩和は、上の子どもを保育園に通わせつつ、下の子どもを家庭で保育するという選択ができるようになる点から多子世帯および多子を望む家庭への大きな支援となり、少子化対策の間からも欠かせない。村でも入所・在園要件を早急に見直すべきと考えるがどうか。</p>	教育長

通告番号	発言議員名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
8	小松 志穂	4 基幹産業としての農業支援をどのように進めていくのか	1 村の基幹産業である農業は、農業者の高齢化や担い手、労働力の確保、農業インフラの整備、疫病対策、鳥獣害対策、肥料や資材、燃油等コストの増大、不安定な気候への対応など課題は非常に多い。公約で「未来に向けた活力ある農業」が掲げられていたが、村として具体的にどのような方向性での発展を目指すのか。	村長
			2 課題が非常に多い中で、一般財源における農政費の割合は低い値となっている。各農家は生産コストの増大が続く中、必死に経営努力を続けているが、個々の営農努力では対処しきれない問題も多く発生しており、基幹産業を守る行政の施策が必要である。農業者の声を聞きながら長期的な視点も合わせ、必要な支援を拡充すべきと考えるがどうか。また、今後具体的にどのような形で農業者の声を集約していくのか。	村長
9	佐宗 利江	1 学校給食への有機米の導入について	1 全国的に導入が拡大されているが村の考えは。	教育長
			2 村内で生産されている減農薬米の利用は。	教育長
		2 農業施策について	1 農地流動化補助金は適正にチェック機能を果たしているか。	村長
			2 水田活用直接支払交付金の水張り問題をどう解決するか。	教育長

通告番号	発言議員名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
9	佐宗 利江		3 水田活用直接支払交付金対象外水田に対する村独自の支援は。	教育長
		3 水道料金の徴収について	1 今後、値上げの可能性はあるか。	村長
			2 徴収単位の改正を求める声があるが。	村長
		4 小規模集落に対する支援について	1 村内の小規模集落で起きている運営困難に対する村の考えは。	村長
			2 具体的な支援の検討はされているか。	村長
		5 庁舎駐車場について	1 前回（令和4年3月議会一般質問）の質問に対しての改善点は。	村長
			2 住民の利便性をどう考えているか。	村長
10	宮坂 早苗	1 農政補助事業、商工業活性化補助金の村単独事業部分について、横断的な補助対象への見直しを考えては	1 農業現場は、テンサイシストセンチュウ、疫病対策、温暖化や記録的短時間豪雨などの対応に苦慮している。猛暑による断熱や遮光技術、大雨による土砂流出のための復旧費用、中でも重機による作業が必要な場合もある。営農継続のために係る費用について、補助項目に追加をするべきでは。	村長

通告番号	発言議員名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
10	宮坂 早苗		2 商工業活性化補助金の内容は、農業振興を考える過程でも必要な補助と考える。改築にかかる費用、償却資産の導入に係る費用、新製品に研究開発費など、法令の関係で 限られてくる対象もあるだろうが、コロナ禍の給付金などでは、個人事業主、青色申告をしている中小事業者等という対象で、産業間で区別することがなかった。対象について、横断的な見直しを考えては。	村長
			3 産業間での人材や後継者の確保が難しくなっている中、農業後継者補助金についても、産業後継者補助金として、考えては。	村長
		2 公共施設の断熱と省エネの実施を	1 温暖化の影響は、経費の増加、環境や利用者への影響など、長期的に影響がでてくる。施設の再建築等の計画がない公共施設は早々に断熱効果を高め、省エネ対策を進める必要があるのでは。	村長
		3 専門的な分野の人材活用の取組みとして、地域活性化起業人事業の活用を考えては	1 総務省の地域活性化起業人（企業人材派遣制度）を活用し、民間のスペシャリストの派遣を通じて、課題解決に取り組む事業がある。ICT 分野におけるデジタル人材の活用では、自治体の業務効率化から教育現場のデジタル活用、課題となっている DMO 立ち上げなど、幅広い課題に専門的な知見が得られると期待できるのでは。	村長

通告番号	発言議員名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
10	宮坂 早苗	4 目的不明な土地取引や水資源保全のための水資源保全地域指定の研究を行なっては	1 長野県条例「長野県豊かな水資源の保全に関する条例」にある水資源保全地域指定について研究を行なっては。	村長